

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公表番号】特表2009-526060(P2009-526060A)

【公表日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-028

【出願番号】特願2008-554302(P2008-554302)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 33/30 (2006.01)

A 6 1 K 33/34 (2006.01)

A 6 1 K 31/17 (2006.01)

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/045

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 33/30

A 6 1 K 33/34

A 6 1 K 31/17

A 6 1 K 31/155

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 33/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 1 】

有機酸の例としては、アジピン酸、ベンゼン-1,3,5-トリカルボン酸、クロロコハク酸、塩化コリン、シス-アコニット酸、シトラマル酸、クエン酸、シクロブタン1,1,3,3-テトラカルボン酸、シクロヘキサン1,2,4,5-テトラカルボン酸、シクロペンタン1,2,3,4-テトラカルボン酸、ジグリコール酸、フマル酸、グルタミン酸、グルタル酸、グリオキシル酸、イソクエン酸、ケトマロン酸、乳酸、マレイン酸、リンゴ酸、マロン酸、ニトリロトリ酢酸、オキサリ酢酸、シュウ酸、フィチン酸、p-トルエンスルホン酸、サリチル酸、コハク酸、酒石酸、タルトロン酸、テトラヒドロフラン2,3,4,5-テトラカルボン酸、トリカルバリル酸、エチレンジアミン四酢酸、3-ヒドロキシグルタル酸、2-ヒドロキシプロパン1,3-ジカルボン酸、グリセリン酸、フラン2,5-ジカルボン酸、3,4-ジヒドロキシフラン-2,5-ジカルボン酸、3,4-ジヒドロキシテトラヒドロフラン-2,5-ジカルボン酸、2-オキソグルタル酸、dl-グリセリン酸、及び2,5-フランジカルボン酸がある。

【 誤 訳 訂 正 2 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 0 4 2

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 0 0 4 2 】

特定の具体例では、プロトンドナーはヒドロキシカルボン酸を含んでなり、1具体例では、ヒドロキシ酸は、2以上のカルボン酸基を有する。1以上の具体例では、2以上のカルボン酸基を有する -ヒドロキシ酸の例としては、酒石酸、リンゴ酸、クエン酸、及びイソクエン酸が含まれる。他の -ヒドロキシカルボン酸の例としては、乳酸、酒石酸、及びマロン酸が含まれる。1具体例では、プロトンドナーとしては、クエン酸、乳酸、リンゴ酸、酒石酸、サリチル酸、シュウ酸、又はその混合物が含まれる。1具体例では、プロトンドナーはクエン酸である。

【 誤 訳 訂 正 3 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 1 1 6

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 0 1 1 6 】

実施例 27 - 30 の抗ウイルス効果を、EN 14476:2005に関して記載したようにしてテストし、結果 (log 減少) を表 12 に示す

【 表 1 2 】

実施例	組成物	アデノウイルス		ポリオウイルス	
		30秒	1分	30秒	1分
27	70 % エタノール	>5.69	>5.69	0.25	0.75
28	70 % エタノール + 0.08 % グルコン酸 Cu	2.37	3.87	0.50	0.50
29	70 % エタノール + 0.4 % ポリクオターニウム-37	>4.81	>4.81	0.00	0.00
30	70 % エタノール + 0.4 % ポリクオターニウム-37 + 0.08 % グルコン酸 Cu	>5.00	>5.00	0.50	>4.00

【 誤 訳 訂 正 4 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 全 文

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 特 許 請 求 の 範 囲 】

【請求項 1】

エンベロープを持たないウイルス粒子を不活化させるための抗ウイルス組成物であって、
該組成物は、該組成物の総質量に関して、

C₁ - 6 アルコール 50 - 98 質量 %、

ポリクオタニウム - 2、ポリクオタニウム - 4、ポリクオタニウム - 5、ポリクオタニウム - 6、ポリクオタニウム - 7、ポリクオタニウム - 11、ポリクオタニウム - 16、ポリクオタニウム - 22、ポリクオタニウム - 24、ポリクオタニウム - 28、ポリクオタニウム - 32、ポリクオタニウム - 37、ポリクオタニウム - 39、ポリクオタニウム - 42、ポリクオタニウム - 43、ポリクオタニウム - 44、ポリクオタニウム - 46、ポリクオタニウム - 51、ポリクオタニウム - 53、ポリクオタニウム - 55、ポリクオタニウム - 57、ポリクオタニウム - 58、ポリクオタニウム - 59、ポリクオタニウム - 60、ポリクオタニウム - 63、ポリクオタニウム - 64、ポリクオタニウム - 65、ポリクオタニウム - 68、又はその混合物からなる群から選ばれるカチオン性オリゴマー又はポリマー0.02 - 20 質量 %、及び

プロトンドナー、カオトロピック剤、銅又は亜鉛化合物、及びそれらの混合物からなる群から選ばれるエンハンサー
を含んでなり、

前記プロトンドナーは、存在する場合、組成物の総質量に関して0.01 - 1 質量 %の量で存在し、クエン酸、酒石酸、リンゴ酸、イソクエン酸、乳酸、タルトロン酸、マロン酸、サリチル酸、シュウ酸、及びその混合物からなる群から選ばれるものであり、

前記カオトロピック剤は、存在する場合、組成物の総質量に関して0.25 - 20 質量 %の量で存在し、尿素、チオ尿素、グアニジンHCl、グアニジンチオシアネート、アミノグアニジンHCl、アミノグアニジン重炭酸塩、グアニジン炭酸塩、グアニジンリン酸塩、及びその混合物からなる群から選ばれるものであり、及び

前記銅又は亜鉛化合物は、存在する場合、組成物の総質量に関して0.01 - 1 質量 %の量で存在し、硫酸銅、クエン酸銅、シュウ酸銅、ウスニン酸銅、酢酸銅、塩化銅、炭酸銅、アラニン / ヒスチジン / リジンポリペプチド銅HCl、ビス(トリペプチド - 1)銅酢酸塩、クロロフィリン - 銅錯体、銅アセチルメチオネート、銅アセチルチロシネートメチルシラノール、銅アデノシントリホスフェート、アスパラギン酸銅、銅クロロフィル、銅DNA、グルコン酸銅、銅PCA、銅PCAメチルシラノール、ピコリン酸銅、銅末、銅トリペプチド - 1、EDTAジナトリウム - 銅、サッカロミセス / 銅ファーマメント、サッカロミセス / 銅ファーマメント加水分解物濾液、サッカロミセス / 亜鉛 / 鉄 / ゲルマニウム / 銅 / マグネシウム / ケイ素ファーマメント、及び銀銅ゼオライトからなる群から選ばれるものである、抗ウイルス組成物。

【請求項 2】

エンベロープを持たないウイルス粒子が、ピコウイルス科 (Picornaviridae)、レオウイルス科 (Reoviridae)、カルシウイルス科 (Caliciviridae)、アデノウイルス科 (Adenoviridae) 及びパルボウイルス科 (Parvoviridae) のメンバーから選ばれるものである、
請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

エンベロープを持たないウイルス粒子が、アデノウイルス、ネコカリシウイルス、ノロウイルス、パピロマウイルス、ポリオウイルス、ライノウイルス、A 型肝炎ウイルス、パルボウイルス、及びロタウイルスから選ばれるものである、
請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

アルコール組成物の総質量に関して少なくとも 60 - 95 質量 %の C₁ - 6 アルコールを含んでなる、
請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

エンベロープを持たないウイルス粒子を不活化させるための抗ウイルス組成物であって、
該組成物は、該組成物の総質量に関して、

C₁ - 6 アルコール 50 - 98 質量 %、

ポリクオタニウム - 2、ポリクオタニウム - 4、ポリクオタニウム - 5、ポリクオタニウム - 6、ポリクオタニウム - 7、ポリクオタニウム - 11、ポリクオタニウム - 16、ポリクオタニウム - 22、ポリクオタニウム - 24、ポリクオタニウム - 28、ポリクオタニウム - 32、ポリクオタニウム - 37、ポリクオタニウム - 39、ポリクオタニウム - 42、ポリクオタニウム - 43、ポリクオタニウム - 44、ポリクオタニウム - 46、ポリクオタニウム - 51、ポリクオタニウム - 53、ポリクオタニウム - 55、ポリクオタニウム - 57、ポリクオタニウム - 58、ポリクオタニウム - 59、ポリクオタニウム - 60、ポリクオタニウム - 63、ポリクオタニウム - 64、ポリクオタニウム - 65、ポリクオタニウム - 68、又はその混合物からなる群から選ばれるカチオン性オリゴマー又はポリマー0.02 - 20質量%、及び

クエン酸、酒石酸、リンゴ酸、イソクエン酸、乳酸、タルトロン酸、マロン酸、サリチル酸、シュウ酸、及びその混合物からなる群から選ばれるプロトンドナー0.01 - 1質量%を含んでなる、抗ウイルス組成物。

【請求項6】

エンベロープを持たないウイルス粒子を不活化させるための抗ウイルス組成物であって、該組成物は、該組成物の総質量に関して、

C₁₋₆ アルコール50 - 98質量%、

ポリクオタニウム - 2、ポリクオタニウム - 4、ポリクオタニウム - 5、ポリクオタニウム - 6、ポリクオタニウム - 7、ポリクオタニウム - 11、ポリクオタニウム - 16、ポリクオタニウム - 22、ポリクオタニウム - 24、ポリクオタニウム - 28、ポリクオタニウム - 32、ポリクオタニウム - 37、ポリクオタニウム - 39、ポリクオタニウム - 42、ポリクオタニウム - 43、ポリクオタニウム - 44、ポリクオタニウム - 46、ポリクオタニウム - 51、ポリクオタニウム - 53、ポリクオタニウム - 55、ポリクオタニウム - 57、ポリクオタニウム - 58、ポリクオタニウム - 59、ポリクオタニウム - 60、ポリクオタニウム - 63、ポリクオタニウム - 64、ポリクオタニウム - 65、ポリクオタニウム - 68、又はその混合物からなる群から選ばれるカチオン性オリゴマー又はポリマー0.02 - 20質量%、及び

硫酸銅、クエン酸銅、シュウ酸銅、ウスニン酸銅、酢酸銅、塩化銅、炭酸銅、アラニン / ヒスチジン / リジンポリペプチド銅HCl、ビス(トリペプチド-1)銅酢酸塩、クロロフィリン-銅錯体、銅アセチルメチオネート、銅アセチルチロシネートメチルシラノール、銅アデノシントリホスフェート、アスパルギン酸銅、銅クロロフィル、銅DNA、グルコン酸銅、銅PCA、銅PCAメチルシラノール、ピコリン酸銅、銅末、銅トリペプチド-1、EDTAジナトリウム-銅、サッカロミセス / 銅ファーマメント、サッカロミセス / 銅ファーマメント加水分解物濾液、サッカロミセス / 亜鉛 / 鉄 / ゲルマニウム / 銅 / マグネシウム / ケイ素ファーマメント、及び銀銅ゼオライトからなる群から選ばれる銅化合物0.01 - 1質量%を含んでなる、抗ウイルス組成物。

【請求項7】

エンベロープを持たないウイルス粒子を不活化させるための抗ウイルス組成物であって、該組成物は、該組成物の総質量に関して、

C₁₋₆ アルコール50 - 98質量%、

ポリクオタニウム - 2、ポリクオタニウム - 4、ポリクオタニウム - 5、ポリクオタニウム - 6、ポリクオタニウム - 7、ポリクオタニウム - 11、ポリクオタニウム - 16、ポリクオタニウム - 22、ポリクオタニウム - 24、ポリクオタニウム - 28、ポリクオタニウム - 32、ポリクオタニウム - 37、ポリクオタニウム - 39、ポリクオタニウム - 42、ポリクオタニウム - 43、ポリクオタニウム - 44、ポリクオタニウム - 46、ポリクオタニウム - 51、ポリクオタニウム - 53、ポリクオタニウム - 55、ポリクオタニウム - 57、ポリクオタニウム - 58、ポリクオタニウム - 59、ポリクオタニウム - 60、ポリクオタニウム - 63、ポリクオタニウム - 64、ポリクオタニウム - 65、ポリクオタニウム - 68、又はその混合物からなる群から選ばれるカチオン性オリゴマー又はポリマー0.02 - 20質量%、及び

尿素、チオ尿素、グアニジンHCl、グアニジンチオシアネート、アミノグアニジンHCl、アミノグアニジン重炭酸塩、グアニジン炭酸塩、グアニジンリン酸塩、及びそれらの混合物からなる群から選ばれるカオトロピック剤0.25 - 20質量%を含んでなる、抗ウイルス組成物。